

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	16	担当部課名称	企画部秘書広報課
事務事業名	市ホームページ等管理運営事業		
見直しのタイトル	ホームページの更新について		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

- ・ホームページ作成ソフト「TsuNaGo」を含むCMSサーバの賃借契約期間が平成31年10月31日までとなっている。
- ・ここでホームページのフルモデルチェンジ（全面改修）を行うタイミングになっているが、職員がホームページの現行作成ソフト「TsuNaGo」の操作に慣れており、フルモデルチェンジ（全面改修）によるソフトの変更があった場合は、職員が再度作成スキルを習得する必要性が生じ、多くの職員が研修等を受講する必要がある。
- ・また、平成29年度に全庁的にホームページのアクセシビリティについて対応を行っており、コンテンツの最適化が図られたばかりである。
- ・CMSサーバの賃借契約期間が平成31年10月31日までであり、新しい総合計画が平成33年度から始まることを勘案すると、今後の組織の変更等も予想される中でのフルモデルチェンジ（全面改修）による更新作業は、タイミングが悪過ぎる。
- ・こうした状況下で契約更新時期を迎えるが、多額の費用負担や、職員の業務負担を伴ったホームページのフルモデルチェンジ（全面改修）が必要であるか。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

- 【趣旨】
現行のホームページについて検証し再評価を行い、フルモデルチェンジ（全面改修）ではなく、現行版を継続しマイナーチェンジ（一部改修）を行う方向で検討する。
併せて、「サーバの賃借方式」から「クラウド方式」に移行しコストダウンを検討する。
- 【具体的内容】
- ・他団体のホームページ等について調査、研究
 - ・関係課や専門家等の意見を聴取し、現行のホームページの検証、再評価
 - ・職員対象に実施したホームページについてのアンケート結果の検討
 - ・情報推進課等の関係課と調整
 - ・「サーバ賃借方式」、「クラウド方式」のメリット、デメリットについて比較検討
 - ・マイナーチェンジ（一部改修）への具体的な調査、検討

3 改善により期待できる効果

- 【コスト面】
- ・フルモデルチェンジ（全面改修）ではなく、現行版を継続しマイナーチェンジ（一部改修）を行うことで全体の事業費を削減
 - ・「サーバの賃借方式」から「クラウド方式」に移行しコストダウンを実現
- 【業務負担】
- ・フルモデルチェンジ（全面改修）を実施する担当職員の業務負担の軽減
 - ・フルモデルチェンジ（全面改修）によるソフト変更があった場合の、全庁職員のスキル習得のための研修受講、コンテンツ再構築等の業務負担の軽減

4 実施スケジュール（概要）

- | | |
|------|---|
| 6～8月 | <ul style="list-style-type: none">・ 庁内関係課との調整（企画経営課、財政課、情報推進課等）・ 関係課や専門家等の意見を聴取し、現行のホームページの検証、再評価・ 他団体のホームページ等について調査、研究・ 「サーバ賃借方式」、「クラウド方式」のメリット、デメリットについて比較検討・ マイナーチェンジ（一部改修）への具体的な調査、検討 |
| 7～8月 | <ul style="list-style-type: none">・ 具体的な事業費の積算・ 次年度予算要求 |
| 9～3月 | <ul style="list-style-type: none">・ 次年度以降の進め方について検討 |

5 実施結果の振り返り

--